

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500022
法人名	株式会社 お茶屋の里
事業所名	グループホーム 上の茶屋
所在地	愛媛県新居浜市西の土居町二丁目8番15号
自己評価作成日	平成23年9月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「いつも笑顔で穏やかな暮らし」の理念通り、利用者と職員の笑顔を絶やさないようにしている。利用者・職員が家族のように信頼関係ができるようにしている。出掛けられる間は、いろいろなところへ出掛けていきたい。</p> <p>亀や金魚を飼ったり、お花を植えたり飾ったりして、利用者の皆さんが穏やかに過ごせるようにしている。</p>

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年10月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>「お孫さんの結婚式」へ利用者ご本人も出席できるよう、ご家族から職員の付き添いの希望があり、職員も結婚式に同行してサポートされたいへん喜ばれた事例がある。お友達やご自宅の近所の方が事業所に会いに来てくれた際には、一緒に写真を撮り、後日、また来ていただけるようメッセージを添えて写真が載っている事業所便りをお送りしている。利用者の希望で「顔馴染みの人がいるカラオケスタジオ」に同行されたり、「お孫さんの運動会を見に行きたい」と利用者が希望された際には、ご家族と相談して、職員が同行して見に行かれた。</p> <p>今年度、消防署の協力を得て避難訓練を実施された。訓練には、地域の方や近所にある施設の職員等にも参加していただき、避難した利用者の見守りをお願いされた。管理者は近所の施設の訓練にも地域協力者として参加されており、連絡網等に加わり、いざという時には協力し合っている。地域の小学校で開催される「防災スクール」には、利用者と一緒に参加され、消火器の使い方や土のう作りを体験された。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらい	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらい				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 職員の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 職員の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 利用者の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 利用者の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族等の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族等の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらい					
		3. 利用者の1/3くらい					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 上の茶屋

(ユニット名) 桔梗

記入者(管理者)

氏名 安部 直子

評価完了日 平成 23 年 9 月 18 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「地域と交流をもちながら楽しく暮らせるように」という理念のもと、利用者が地域の中にどんどん出ていけるように支援している。 毎日理念を唱和している。 (外部評価) 開設時作成された「いつも笑顔で穏やかな暮らし」という理念に、「地域の中で交流をもちながら楽しく暮らせるように」を追加された。理念は、エントランスや各ユニットに掲げておられ、毎朝の申し送り時に、職員は利用者とともに唱和されている。管理者は「利用者が笑顔で穏やかな暮らしができるように支援してほしい。」「利用者が地域の中で暮していけるよう、職員は率先して地域の方達と交流してほしい。」と、職員に話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所全体としても地域の中で暮らしていけるように定期的に会に出席したり、イベントに参加したりして日常的に交流している。 (外部評価) 校区の運動会や公民館、近隣の複合施設で開催される盆踊り等に、毎年、利用者も参加されている。これまでは、事業所から地域行事に出向くことが多かったが、「地域の方達に事業所に足を運んでいただきたい」との思いもあって、法人全体で話し合い、系列事業所の駐車場で「夕涼み会」を開催された。事前に地域の方達にチラシとバザーのチケットをお配りして参加を呼びかけられた。当日は、利用者、地域の方、ご家族、職員等、約100名以上の参加があり、利用者もご家族と一緒に食事をする等して楽しいひと時を過ごされ笑顔が多く見られたようだ。当日は、地域ボランティアの方がテント張り等の協力をしてくださったり、必要な器材は、公民館で貸していただいた。管理者は、今回は法人全体で開催したが、次は「事業所独自でできること」を考えて開催したいと話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議などでは、話をして理解してもらえるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組みを報告している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には、ご家族や公民館長、連合自治会長、民生委員協議会長等に参加していただき、事業所から利用者の現状や行事の報告を行い、又、入居の待機者数等も知らせて情報交換をされている。公民館長の方からは、散髪ボランティアを紹介していただき、現在、利用者のカットをしていただいている。</p>	<p>事業所では、今後、ご家族にも会議に参加いただけるよう行事と合わせて会議を行う等、「参加しやすいような会議」の工夫をすすめていきたいと考えておられる。さらに、今後も会議を活かして地域のいろいろな立場の方とのネットワークを拡げ、事業所の活動につなげていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市担当者とも連絡を密にするようにし、事業所の実情なども報告している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事故報告書等、連絡のやり取り等をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしないケアに努めている。毎朝のミーティングやスタッフ会の時など折に触れ話している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるようになっている。又、利用者はユニット間を行き来して、他ユニットの職員とおしゃべりを楽しまれる方もいる。ケアマネジャーは、外部研修で勉強されたことや「身体拘束0への手引き」を参考に、事業所内でも勉強する機会を作っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティングなどで折りにふれ話をしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見人を決めている利用者が入所されたのをきっかけに、少しずつ話をしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者・家族に契約書と重要事項を説明して納得してもらえよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時にはご意見・ご要望がないかお聞きしている。意見箱の設置もしている。 遠くでなかなか来られない家族には、お便りや電話などでお知らせし、ご意見や要望等をお聞きしている。 (外部評価) ご家族の来訪時、職員はご家族にあいさつされたり、声をかけて話しやすい雰囲気作りに努めておられる。毎月、ご家族に送付している事業所便りと個別のお便りで日々の様子を報告されている。ご家族からエアコンの掃除についてのご意見をいただいた際には、全居室のエアコンの清掃が行われた。事業所では、ご家族からの意見はとても貴重であり、さらに「職員の気付きにもつながった」と話しておられた。	事業所では、運営推進会議で話し合った内容をご家族にもお知らせしたいと考えておられる。今後さらに、ご家族とも一緒に活動するような機会を作ったり、事業所の理念や事業所が力を入れて取り組んでいること等を伝えながら、事業所のサービスについて具体的に意見や要望をうかがっていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃より職員の話に耳を傾け、意見や提案などを反映できるようにしている。	
			(外部評価) 事業所では、利用者のお孫さんやひ孫さんも来てほしいという思いもあって、玄関には子ども用のスリッパを用意されており、小さな子どもさんに喜んでもらえるようだ。食べ物に好き嫌いがある利用者について、ご本人の食事量や傾向を知るため、職員のアイデアで「何を好んで食べたか」「どのメニューをどのくらい食べたか」を細かく調べておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は日頃より管理者や職員の話をよく聞いており、個々の勤務状況を把握しており、職場の環境条件の整備に努めている。	
			(外部評価) 代表者は管理者により職員の1人ひとりの力量などを聴いて把握し、研修なども受けるよう勧めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 代表者は管理者により職員の1人ひとりの力量などを聴いて把握し、研修なども受けるよう勧めている。	
			(外部評価) グループホーム協会に入っており、研修他相互研修などで交流を図り、他の施設なども訪問させてもらっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム協会に入っており、研修他相互研修などで交流を図り、他の施設なども訪問させてもらっている。	
			(外部評価) グループホーム協会に入っており、研修他相互研修などで交流を図り、他の施設なども訪問させてもらっている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用するまでに本人に会い情報を得ている。本人の要望を聞いて納得してもらって、安心して暮らしていただけるように努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用開始前から家族の困っていること、心配なことをよく聞いて、不安なく過ごせるように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容から状況を判断し、本人が必要としているサービスを検討し、家族に確認してからサービスを提供している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩と尊敬し、一緒に過ごす家族のような関係を築くようにしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族により考え方が違うところもあるが、共に支えていく関係を築いていき信頼関係を築くようにしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が訪ねて来られたり、その人のことを一緒に話をしたり、家族から話を聴いたりして関係が継続するように努めている。 (外部評価) 「お孫さんの結婚式」へ利用者ご本人も出席できるよう、ご家族から職員の付き添いの希望があり、職員も結婚式に同行してサポートされたいへん喜ばれた事例がある。お友達やご自宅の近所の方が事業所に会いに来てくれた際には、一緒に写真を撮り、後日、また来ていただけるようメッセージを添えて写真が載っている事業所便りをお送りしている。利用者の希望で「顔馴染みの人がいるカラオケスタジオ」に同行されたり、「お孫さんの運動会を見に行きたい」と利用者が希望された際には、ご家族と相談して、職員が同行して見に行かれた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者それぞれの状況を踏まえ、職員が間に入ったり声をかけをしながら孤立することのないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方より、相談があれば支援するようにしている。年賀状・暑中見舞いなどを出して関係が途切れないようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者それぞれの思いを汲み取るように努めているが、困難な場合は、家族も含め話し合い、納得してもらえる方法をとるように努めている。 (外部評価) 姉妹の心配をされる利用者には、電話でお話しができるよう職員が取り次がれ、後日、姉妹が会いに来てくださったこともある。親戚の方や友人が来られた際に、利用者の以前の様子を話して下さるようなこともある。	入居後に知り得た利用者の情報についても、蓄積していくような工夫が期待される。利用者の暮らしの意向や思いをさらに支援につなげていくためにも、個々のアセスメントの充実に取り組んでいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人・家族より話を聴き、意向に沿うようにカンファレンスを行い、サービス提供に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 1人ひとりの身体状況や生活リズムを把握し、日々の状態の変化も気付けるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状況、有する力の変化などを家族、かかりつけ医師と相談しながらカンファレンスを行い計画を立てている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、3ヶ月ごとにモニタリングを行い、6ヶ月ごとに見直すようになっている。介護計画作成前、職員で「気づきアイデアシート」に「気づき」や「どのようなケアを実践したらよいか」というアイデアを記入するようになっており、それらをもとにカンファレンスを行い計画作成につなげておられる。外部研修で習った介護計画書の様式を採り入れて、より利用者やご家族にも見やすく分かりやすく、利用者の気持ちを大切にしながら計画作成に取り組んでおられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子、ケアの実践など個別に記入し、職員間で情報の共有するようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族とも連絡を密にし、その時々その人それぞれのニーズに対応できるようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の人達によるボランティアや慰問などを受け入れ地域の中で共に暮らしていけるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医との関係を築きながら、受診できるようにしている。 家族が同行できない時は、スタッフが同行できるようにしている。</p> <p>(外部評価) 協力医療機関が、2週間に1回往診に来てくださっている。今年度から訪問歯科が来てくれるようになり、治療の必要な利用者は、週に1回診てもらおうようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 看護師はホームにはいないので、かかりつけの医師に相談して受診、服薬などの支援をしている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 本人・家族が安心できるように、様子を見に行ったり、病院関係者との情報交換もしている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化していった場合、かかりつけの医師や家族と今後のあり方についても相談し、今後の支援について相談している。</p> <p>(外部評価) 利用者には、日々の会話の中でさりげなく、終末期のあり方について聞いてみられたり、口から食べることが難しくなってきた場合等には、「その後、どのような対応を望まれるか」ご家族と話し合っておられる。事業所では、これまで、看とりの経験はないが、管理者は、職員の重度化や看とり支援についての知識を深めたり、職員の不安感を軽減するような取り組みの必要性も感じておられ、現在、医療との連携について検討しているところである。</p>	<p>重度や看とりの支援については、できること等を話し合うなどして、事業所でも指針を示していかれてはどうだろうか。利用者やご家族の立場にも立って、事業所のサービスの多機能性について検討を重ねていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会などで知識を身につけるようにはしているが、職員の入れ替わりもあり、全ての職員が力をつけているわけではない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練をしており、地域の人にも参加と協力をしてもらっている。地域での訓練にも利用者と共に参加している。	
			(外部評価) 今年度、消防署の協力を得て避難訓練を実施された。訓練には、地域の方や近所にある施設の職員等にも参加していただき、避難した利用者の見守りをお願いされた。管理者は近所の施設の訓練にも地域協力者として参加されており、連絡網等に加わり、いざという時には協力し合うようになっている。地域の小学校で開催される「防災スクール」には、利用者と一緒に参加され、消火器の使い方や土のう作りを体験された。過去の水害の経験から、職員は「土砂くずれ時の訓練等も行いたい」と話しておられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 1人ひとりを尊重し、プライバシーも確保するようにしているが、耳の聞こえない方などにはつい大きな声で声かけをしてしまうこともあるので気を付けていきたい。	
			(外部評価) 職員は、利用者に対し「馴れ合いにならない」ように気を付け「人生の大先輩で利用者の方に対し敬意を持ち接する」ことを心がけておられる。さらに「威圧的な言葉かけにならないように気を付け対応されている。耳が聞こえにくい利用者には、耳元で話しかけたり、聞き取りやすい側に職員が移動して話しかけておられる様子が見られた。「足が痛い」と職員に申し出る利用者には、職員は「足を見せてもらってもいいですか」と、お聞きしてから見せてもらっていた。調査訪問時、日に何度も洋服を着替える利用者には職員は「お洋服が変わりましたね」と声をかけられると、ご本人は「そうなの」と、笑顔で答えておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その人に応じて、思いや希望を表せるように、声をかけたり話をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な生活のリズムでは過ごしてもらっているが、その人 毎のペースを尊重し、一日を過ごしてもらっている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 希望の理美容院に行ったり、カットなどもご自分の意志を尊 重してもらっている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に食事をしてもらい、好みのものやそうでないも のも美味しく食べられるように工夫し、食べてもらえるように 支援している。	
			(外部評価) 職員は、利用者の介助をしながら一緒に同じものを食べて おられた。目の不自由な利用者には、メニューの内容を知ら せ、支援されていた。事業所では、法人の厨房から食事が 届くようになっており、利用者の状態に応じて、事業所で小さ く切ったり、ミキサー食にされている。職員と一緒に盛り付け や配膳・下膳をされる利用者もみられた。事業所では、月2 回、「手作りクッキング」の日を設けておられ、バラ寿司、お好 み焼き、寄せ鍋、いも炊き等を利用者と一緒に作っておられ る。職員は、利用者の力を活かしたり、利用者の好みのもの を作れるように、「食事を手作りする日を増やしていきたい」と 話しておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量など、記録して、1人ひとりがバランス良く摂 取できるように支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、その人にあった口腔ケアをしている。 訪問歯科も受け入れ定期的に来てもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の記録をつけて、1人ひとりのパターンを活かし、トイレで排泄できるように支援している できる限り紙おむつの使用が減るように支援している。 (外部評価) 排泄チェック表を記入して、利用者の排泄パターンの把握に努めておられ、パターンに応じて職員は声をかけて、トイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) それぞれの便の状態も記録し、便秘解消に向けて食べ物や運動などの働きかけもしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日入浴できるようにしている。 その人に応じて体調や希望などに合わせて入浴してもらっている。 (外部評価) 入浴介助には、同性介助を希望する利用者もおられ、個々の希望等を踏まえて支援されている。利用者の状態に沿って、浴槽内で座するための椅子を使用されたり、場合によっては、浴室に手すりを増やして、安全に入浴できるよう支援されている。時には、入浴剤を使用されたり、入浴できないような日には、体を拭いたりベッド上で髪を洗うような支援もされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) それぞれの生活習慣や体調に応じて休んでいただけるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 1人ひとりが使用している薬について理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりが張りのある生活を送れるように、役割をもってもらったり、気分転換を図るなど、楽しく過ごせるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) それぞれの体調や希望に合わせて買い物や散歩に出かけられるように支援している。季節に合わせてお花を見に行ったりする時は、家族や地域のボランティアの人達にも協力してもらっている。	
			(外部評価) 季節ごとにコスモス・紅葉等を見に出かけられたり、太鼓祭りや初詣、お花見等に出かけておられる。近くのショッピングセンターに買い物に出かけたり、遊歩道を散歩しておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の能力に応じてお金を持ってもらい、買い物などにも行けるようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 望みがあれば電話をかけてもらったり、手紙もやり取りされている方もいらっしゃる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 照明や音なども刺激が強くないようにし、玄関には季節の花を植えたり、フロアにも季節感を取り入れて居心地良く過ごせるように工夫している。	
			(外部評価) 玄関には、金魚やカメを飼っておられ、調査訪問時には、ススキを飾っておられた。共用空間には、懐メロが流れており、歌に合わせて口ずさむ利用者の様子がみられた。壁には利用者が作った川柳を掲示されていたり、行事や外出先で撮った写真や太鼓台の祭りのポスターを貼っておられた。外出や行事時の写真は、アルバムに整理されており、居間に置いて、利用者を見て楽しまれたり、ご家族の来訪時に見られるようになっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアのおちこちに椅子を置いたり、エントランスで座れたり、共有空間でも1人ひとりの時間がとれるように工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人や家族と相談しながら使い慣れたものを置いたり、配置も過ごしやすいように工夫している。	
			(外部評価) ご自宅で使用していたお気に入りの椅子を持って来られている利用者や、ご家族と一緒に撮った写真や塗り絵の作品を飾っておられる利用者もみられた。お位牌を持って来られている利用者には、職員が毎朝お水とご飯を用意し、ご本人がお供えすることを続けられるようサポートされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 移動するスペースなどは安全を確保し、出来ることは1人でできるように環境を整えるよう努めている。	